

あと一口食べてみようよ。



6月2週目、運動部の多くはこの週末に市の総体がありますね。去年は交流大会としての開催でしたが、今年は県総体につながる大会として開催できることを喜びたいですね。しっかり準備して大会に臨んでほしいと思います。

さて今回はみなさんと一緒に考えてみたいことがあります。“食品ロス(フードロス)”について。「まだ食べられるのに廃棄される食品」のことですね。

少し前の調査では我が国の年間食品ロスの量は世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量の1.4倍だと言うことです。かなり深刻ですよ。

今回は自分たちの足下からということで給食の残食について考えてみたいと思います。実は給食センターでは毎日の残食率を出しています。少し前に4月分のデータを提供してもらいました。本校の4月の3学年平均の残食率は8.3%でした。

ちなみに残食率は「食べられずに戻って来た食缶の中身の重さ」÷「提供した食缶の中身の重さ」で求めます。

もう少し詳しく見ていくと①主食(ごはん、パン)、②副食1(大皿)、③副食2(汁茶碗)、④副食3(小皿)、⑤デザートに分けて残食率が出されています。



特に率が高いのが副食3でした。何と50%を超えている日がありました。半分以上食べられていないってことですよ。その日のメニューを調べてみると「れんこんサラダ」と「小松菜と揚げの煮ひたし」でした。記憶にある人も多んじゃないで



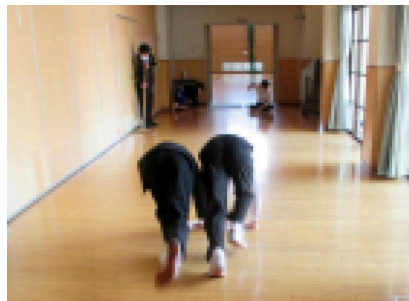
しょうか。

次にコスト面からも知っておいてほしいことがあります。香芝市の中学校給食の年間経費は約2億5千万円で、その内の1億3587万円を給食の材料費としてみなさんのお家の人に月額4500円を支払ってもらっています。4中学校の平均残食率は約10%ということですので、1億3587万円の10%、約1400万円分が捨てられている現実があるということです。

みなさん、あと1口でも構いません。食べてください。一人ひとりがあと一口食べるだけで、少しは改善されるはずですよ。友だちと楽しく会話しながら食べることができれば食もさらに進むのですが、今はそれができません。「あと一口食べてみる。」一人ひとりの努力に期待したいと思います。



嬉しい連絡がありました。



5月28日(金)の夕方のことです。校長室の電話の呼び出しが鳴りました。「校長先生に代わってほしいという匿名の方からの電話です。」受話器の向こうで取り次いで下さった先生がおっしゃいました。「ウン?何かあったのかな?」

おそらく地域に住んでいる方のようにでしたが、お話を伺うと本校の生徒がコナン近くの池に自転車を落として泣いている小学生を見つけて、声をかけ、自転

車を池から取り出してくれたとのことでした。電話をくださった方はその生徒の名前を確認しておられたようで、教えてくださいました。

後日その生徒に話を聴くと「泣いていたので声をかけました。」とニコニコしながら答えてくれました。「自ら学び、考え、行動する生徒」正にそれを実行してくれました。校長としてとても誇らしく思います。

「保護者や地域から応援してもらえる学校」を目指していますが、今回のような行動の積み重ねが、それを実現する大きな一歩になると考えます。今後ともみなさんのファインプレイに大いに期待します。

